

再生可能エネルギー出力制御見通し (5月7日 17時0分発表)

		出力制御			出力制御指示内容 (注5)
		5月8日 (水曜日) (注3)	(参考) (注4)		
			5月9日 (木曜日)	5月10日 (金曜日)	
九州本土		指示実施	—	—	 2019年度指示内容 (九州本土: 5月7日更新) (244KB)
離島	対馬	—	—	—	—
	吉岐	—	—	—	 2019年度指示内容 (香 岐: 5月6日更新) (102KB)
	甕島	—	—	—	—
	種子島	指示実施	—	—	 2019年度指示内容 (種子島: 5月7日更新) (104KB)
	奄美大島	—	—	—	—
	吉界島	—	—	—	—
	徳之島	—	—	—	—
	沖永良部	—	—	—	—
	与論	—	—	—	—

出力抑制実績
(単価適用時間帯)

(注3) 旧ルール事業者さまのうち、制御対象事業者さまへは電話及びメールで指示を行っています。指定ルール事業者さまのうち、制御対象事業者さまへは、当日、制御スケジュールを配信します。

(注4) 参考日の出力制御見通しは、需給状況の変動により変更となる場合があります。
 ・出力制御の可能性がない場合 (上記「-」の場合) においても出力制御が必要となる場合があります。
 ・出力制御の可能性のある場合 (上記「可能性あり」の場合) においても出力制御が不要となる場合があります。

(注5) 「出力制御指示内容」は、年度内に行った『再生可能エネルギーの固定買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告内容を掲載しています。 ([過去の指示内容はこちら](#))

(注6)  [出力制御等の考え方及び制御回数実績について](#)(1,284KB)

▶ [情報更新時に電子メールによる通知を希望される場合はこちら](#)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[5月7日現在]

※赤枠が出力の抑制を実施した時間帯 [万kW]

通し番号		1	2	3	4				
出力制御内容	発信日	3/31(日) 16時頃 (前日指示)	4/1(月) 実績 (速報)	4/1(月) 16時頃 (前日指示)	4/2(火) 実績 (速報)	4/2(火) 16時頃 (前日指示)	4/3(水) 実績 (速報)	4/3(水) 16時頃 (前日指示)	4/4(木) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4/1(月) 8時00分～16時00分	4/1(月) 8時00分～16時00分	4/2(火) 8時00分～16時00分	4/2(火) 8時00分～16時00分	4/3(水) 8時00分～16時00分	4/3(水) 8時00分～16時00分	4/4(木) 8時00分～16時00分	4/4(木) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	13時00分 ∩ 13時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	115 [17%]	99 [13%]	129 [18%]	100 [14%]	138 [23%]	72 [14%]	169 [22%]	126 [16%]
	再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④)	115	99	129	100	138	72	169	126
予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	930	964	920	971	920	974	900	935
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226	184	226	109	226	128	226	164
	域外送電 ^(注4) ③	243	243	243	243	234	232	234	233
	小計	1,399	1,391	1,389	1,323	1,380	1,334	1,360	1,332
	供給力 ^(注5) ④	1,514	1,490	1,518	1,423	1,518	1,406	1,529	1,458
	(再掲)再エネ出力	(784)	(712)	(778)	(632)	(786)	(645)	(786)	(716)

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定

(参考)3月末設備量 904万kW(太陽光:853万kW、風力:51万kW)

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)関門連系線を最大限活用し、域外送電

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ

(注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯

(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応